



【めざす学校像】

5つの気がみなぎり笑顔があふれる学校



毎日、マイペースで学びの姿勢を

校長 富澤敏夫



学校敷地内のイチョウが色づき落葉したり、ギンナやドングリ（クヌギ）が落ちたりするなど、秋ならではの光景が見られるようになりました。日溜まりの中に香るキンモクセイも心を落ち着かせます。10月は残暑、新涼、朝冷など3つの季節感を感じる一か月でしたが、いよいよ季節の歩みは加速し始めたようです。

さて、本校では家庭学習の充実や学びに向かう意欲の醸成を目的として「マイマイ学習（毎日、マイペースで）」を行っています。内容は漢字や計算練習、日記、授業の振り返り、日常の中で見つけた課題の解決（調べ学習）など多岐に渡っています。夏休み中の取組も含め9月はノートの提出がのべ300冊近くに上りました。一冊一冊目を通し、一言コメントを書いてから返しているのですが、返却まで1か月以上も要してしまいました。うれしい悲鳴といったところでしょうか。その中で、ある日記の1フレーズが大変印象的なものがありましたので紹介します。

きょう、学校から帰って家についたら、チーンという音が聞こえました。

という書き出しに続き、その音の正体がスイートポテトの焼き上がりの音であったこと、またそのおいしさなどが綴られていたコンパクトな日記でした。きっとお家の方が我が子の帰宅時間に合わせておやつを用意していたのでしょう。さらにその子が「チーン」という音に期待する様子や気持ちが容易に想像でき、読んでいてとても楽しくうれしかったのです。

それぞれのノートからは、その子がどのように学習に取り組んだのか、またどのような体験をし、どのような思いをもったのかを伺い知ることができます。時間をやりくりして取り組んでいることと思いますが、引き続き励ましと見届けをよろしくお願いします。

紫金山・アトラス彗星、ご覧になりましたか

「汚れた雪だるま」に例えられる彗星。太陽に近づくと、そのエネルギーの影響でガスや塵（ちり）を放出し、それが太陽に照らされて、尾を引く姿が見られます。

今回話題となった紫金山・アトラス彗星は、天文ファンならずとも多くの方がその明るさの状況に一喜一憂をしながら見守りました。私もその一人です。天気の関係でなかなか観測できず、彗星と出会えたのは10月20日のことです。太陽から日に日に遠ざかっていく最中のためかなり減光しており、残念ながら肉眼での確認はできませんでした。しかし、何枚か撮影（スマホ）した中にうっすら尾を引くその姿があり、同じ目的で来ていた親子と喜びを分かち合いました。

次にこの彗星が見られるのは約8万年後、または二度と戻ってこないと言われていています。いったいどこからやってきてどこに行くのでしょうか。

*印刷の都合上、彗星は確認しづらいので学校のHPにて画像データをご覧ください。↑



日	曜日	予定
1	金	
2	土	
3	日	文化の日
4	月	振替休日
5	火	
6	水	
7	木	委員会
8	金	5時間授業
9	土	
10	日	
11	月	修学旅行(6年) 放課後子ども教室
12	火	修学旅行(6年)
13	水	
14	木	県民の日
15	金	月曜授業
16	土	
17	日	
18	月	芸術鑑賞会 放課後子ども教室
19	火	5時間授業
20	水	東部北地区音楽会(4-2)
21	木	社会科見学(5年) ふれあいデー
22	金	クラブ
23	土	勤労感謝の日
24	日	クラブ
25	月	
26	火	
27	水	いちよう祭り
28	木	クラブ PTA 本部役員会
29	金	社会科見学(4年)
30	土	

【12月の主な行事】

- ・ 3日(火) 学カアップテスト
学校運営協議会
- ・ 5日(木) 書きぞめ競書会
- ・ 17日(火) 大掃除
- ・ 19日(木) 給食終了
- ・ 24日(火) 終業式
- ・ 12/25(水)～1/7(火)

就学時健診



来年度入学予定の児童が北小に来て健康診断を行いました。初めての小学校に緊張や戸惑う様子も見られましたが、一生懸命に頑張る姿が可愛らしかったです。入学を楽しみにしています。

学校ボランティアの皆様の活動



6年生の家庭科の「ミシン」を使用した授業でボランティアの方々に御協力をいただきました。ミシンを使い慣れていない子供たちもアドバイスを参考に真剣に取り組んでいました。

まち探検(第2学年)



10/17日(木)生活科の学習の一環として2年生が「まち探検」に出かけました。当日は天候に恵まれ、保護者の方の協力をいただきながら、『羽生駅』と『郵便局』に訪問して学びを深めました。

給食センター職員学校訪問



学校給食センターの職員の方が来校して、給食センターの役割や食育についての学習を3-2で行いました。センターで使用している大きな道具に驚きの声上がり、毎日の給食が作られるまでのお話を真剣に聴いていました。多くの学びを得ることができました。